

令和2年度 特別養護老人ホーム及び認知症対応型共同生活介護の 入所受入れ等に係る調査結果（概要）

【調査の概要】

目 的	市内の特別養護老人ホーム及び認知症対応型共同生活介護（グループホーム）入所者の状況や入所受入れ状況を把握することで、第8期介護保険事業計画策定の参考資料とするもの。
調査対象	令和2年3月31日現在、稼働中の市内特別養護老人ホーム（81施設）と市内グループホーム（146事業所）
調査方法	郵送調査
実施期間	令和2年6月8日～9月11日
回収状況	回収率：100%

【調査結果の概要】 ※今回調査：令和元年度の状況、前回調査：平成28年度の状況

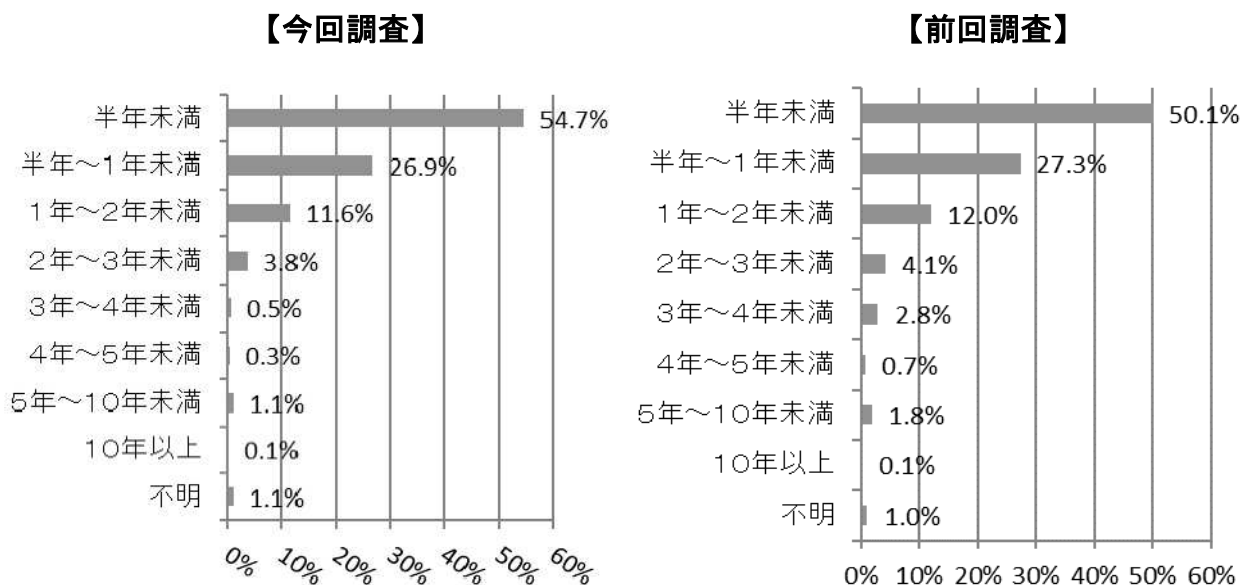
特別養護老人ホーム

1 待機者数 （2ページ）

	今回調査 ①	前回調査 ②	① — ②
定 員	5,461人	5,161人	300人
待機者数	2,606人	2,220人	386人

待機者数は386人増加している。

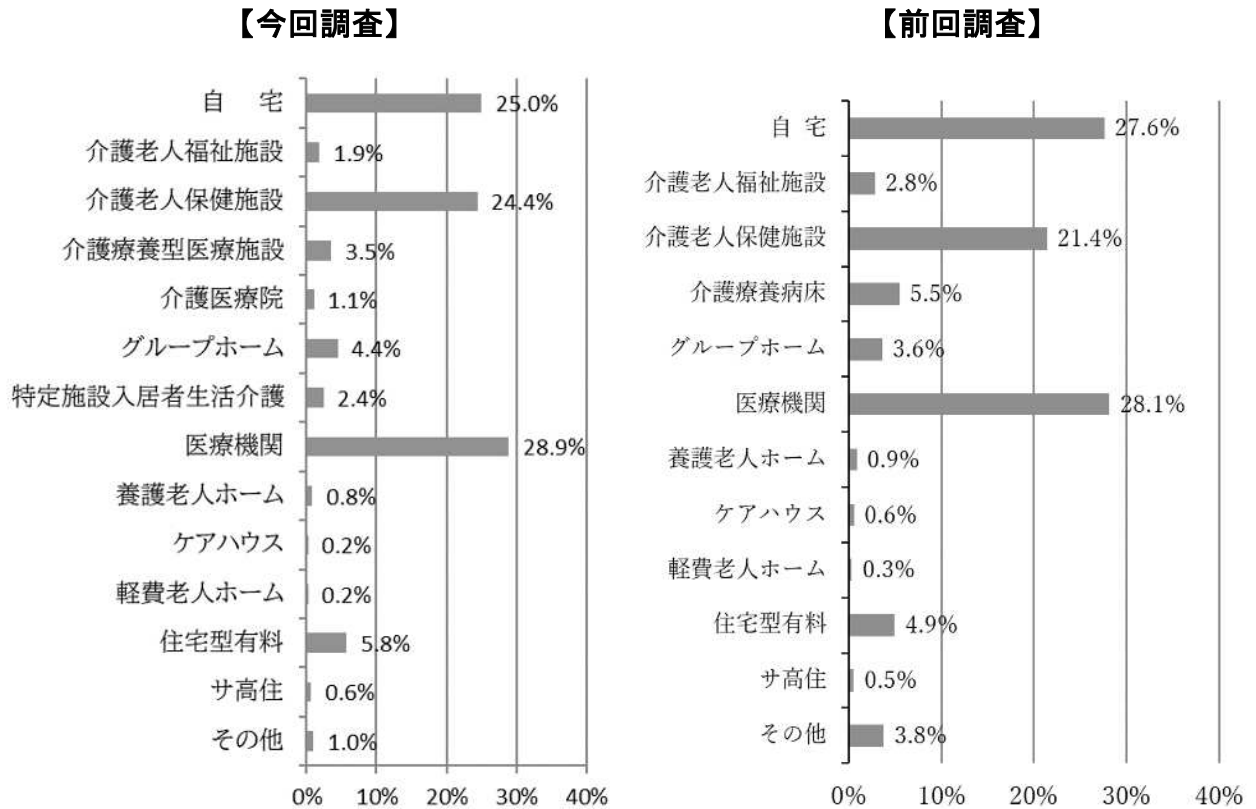
2 入所者の待機期間 （3ページ）



今回調査では新規入所者全体の約5.5%が半年未満、全体の約8割が1年未満で入所している。

3 新規入所者の入所前の待機場所

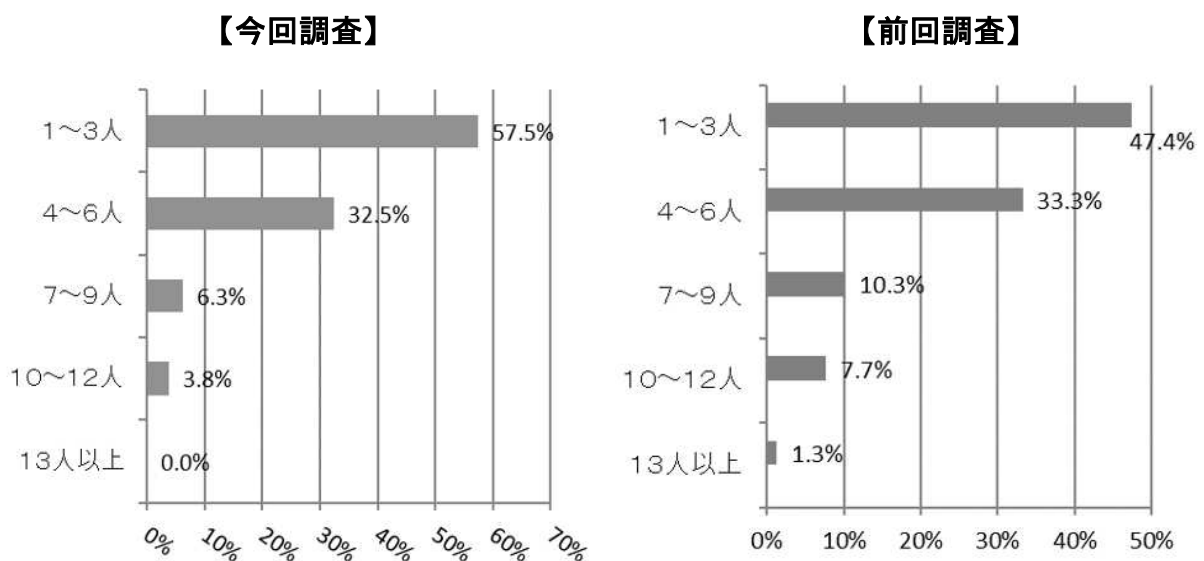
(3 ページ)



入所前の待機場所は「医療機関」が最も多く、次いで「自宅」、「介護老人保健施設」となっている。

4 空床が出た場合の待機者への入所意向確認人数

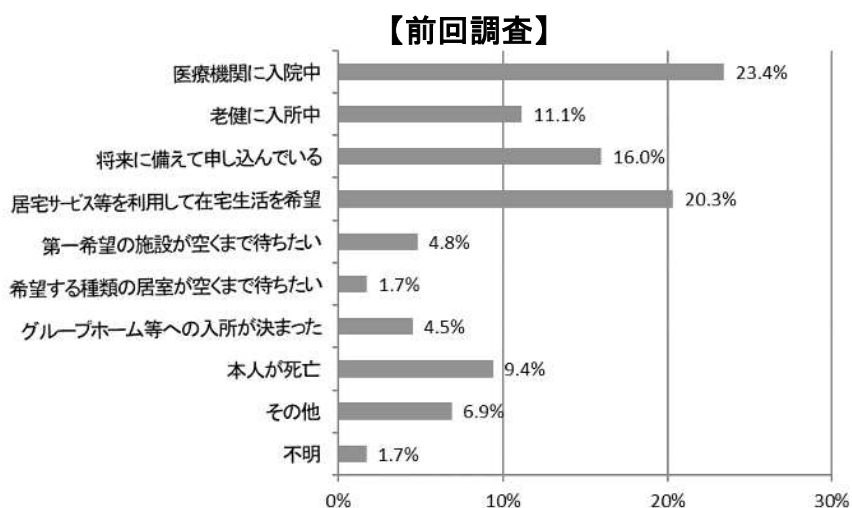
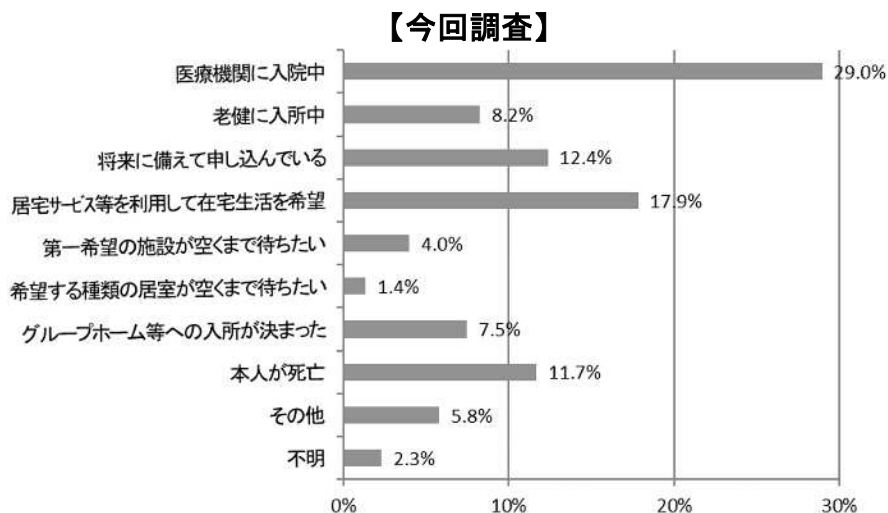
(5 ページ)



実際に入所者が決定するまでに平均で約4人に案内をしている。

(今回調査：3.7人、前回調査：4.5人)

5 入所辞退理由 (6 ページ)



「医療機関に入院中」、「居宅サービス等を利用して在宅生活を希望」という辞退理由が多い。特に医療機関入院中の割合が増加している。

6 看取り介護 (8 ページ)

	今回調査 ①	前回調査 ②	① - ②
実施している	51	43	8
実施していない	30	35	△5

施設で亡くなるまで看取る介護を実施している施設が増加している。

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

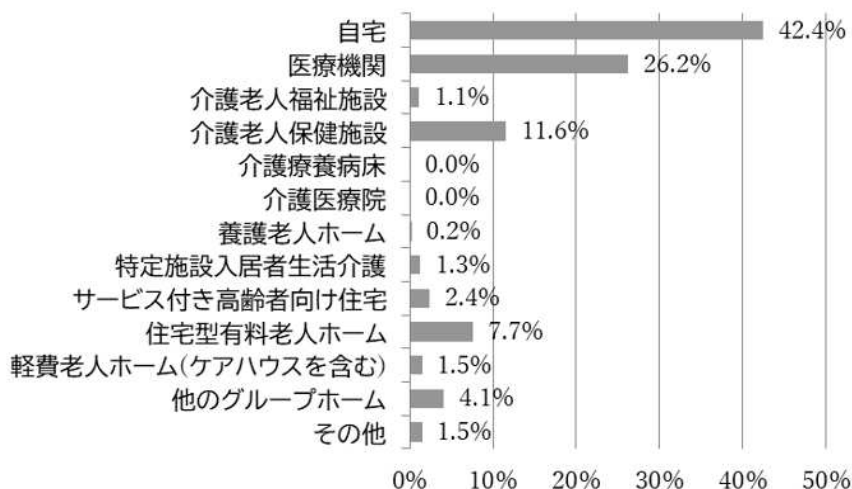
1 入居申込総数 （9ページ）

	今回調査 ①	前回調査 ②	①－②
定員	2,244人	2,194人	50人
入居申込数(延べ人数)	472人	323人	149人

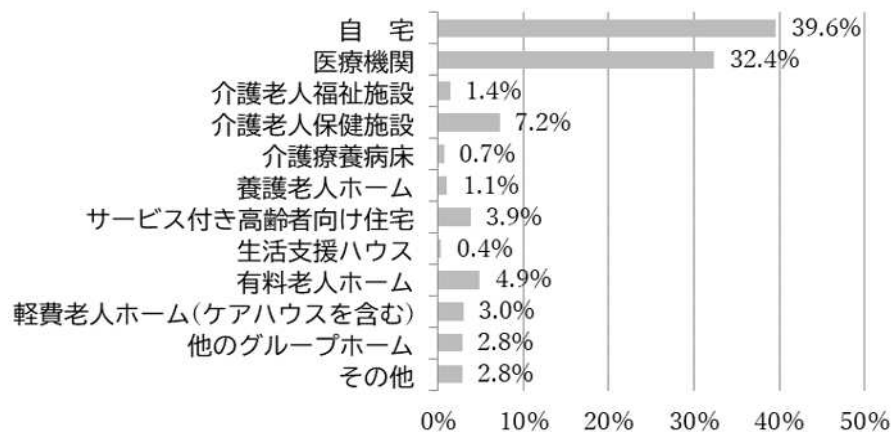
入居申込数は149人増加している。

2 入居前の状況 （10ページ）

【今回調査】



【前回調査】



「自宅」が最も多く、次いで「医療機関」となっており、上位2つで全体の約7割となっている。

3 看取り介護 （13ページ）

	今回調査 ①	前回調査 ②	①－②
実施している	94	88	6
実施していない	52	55	△3

事業所で亡くなるまで看取る介護を実施している事業所が増加している。

調査結果のまとめ

特別養護老人ホーム

- 特別養護老人ホームの待機者数はやや増加傾向である。
- 看取り介護を実施している施設が増加している。
- 新規入所者の約8割が1年未満で、約55%が半年未満で入所しており、入所が必要な高齢者が入所できる状況にはなっているのではないかと考えている。

グループホーム

- 入居申込者はやや増加傾向となっている。
- 看取り介護を実施している事業所が増加している。
- 住み慣れた地域で入居から終末期まで継続的な支援ができる体制の整備が進んでいる。